

## 【小諸市】SC推進協議会を開催

小諸市では、3月27日に、SC推進協議会を開催し、各対策委員会が、この1年間の活動報告を行うとともに、次年度(26年度)の事業計画について報告し、承認を得ました。

小諸市も、2012年12月の認証式から1年半を経て、取組みによってどのような点が変わったのか、どのような成果がみられるのか、そしてどのような課題が生まれたのか、といった点が次第に検証できる時期にきています。しっかりと計画にそってアセスメントをしていくことが取組の継続において大切なポイントとなります。



## 【泉大津市】着手に向けて準備中

4月3日、SCの着手に向けて準備を進めておられる大阪府泉大津市のご担当者が JISC 事務所に来られ、SCの進め方等についてお打合せをしました。

今年度に入り、本格的に SC 活動を開始するにあたって、総合政策部危機管理課が担当となりました。当日は、前年度のご担当とともに今後のスケジュールや体制、進め方等について JISC と調整を行いました。

## 【甲賀市】5月に向けてリハーサルを実施

甲賀市は、4月11日、17-18日と3日間をかけて、5月に実施予定の専門家の招へいによる視察対応のためのリハーサルを行いました。全ての対策委員会と外傷サーベイラ



ンス委員会、そして SC 事務局による概要説明が行われるとともに、視察先の下見も行いました。

事前に、JISC に報告用の PPT ファイルを何度かお送りいただき、内容や流れ等についてアドバイス差し上げていましたが、実際に口頭でのご報告と併せてみると、さらに検討事項も見えてきました。また、対策委員会の中からも意見がだされ、さらにバージョンアップされました。

日本では、ここ数年、SC 認証申請の際に行われる現地審査を受ける前に SC 専門家を招へいし、それま



での取組を見てください。また、近年では、海外でもこの方法を取り入れているところも増えてきています。

## 【ISS 富士見台小】ISS 活動に着手しました

豊島区では、朋有小学校が 2012 年にセーフスクールに認証され、地域との連携のなか、活発に安全な学校環境づくりを進めています。このたび、富士見台小学校においてもセーフスクール活動に取り組むこととなりました。



4月22日に、第一回国際セーフスクール交流会が開催され、PTA や地域の安全活動関係者、行政関係者などが出席されるなか、児童により今後に向けた意気込みが示され、歌が披露されました。最後には、渡辺校長よりセーフスクール活動に着手する旨が宣言され、JISC 白石が英文を読み上げました。



その後、地域の方たちや行政関係者によって ISS について改めて理解を共有し、連携・協働して取り組む決意を確認する機会を持ちました。豊島区には、「区民ひろば」という地域の各種活動の拠点となる施設が設置されており、そこ

では従来から SC 活動が活発に展開されています。今回も、その施設を運営されている NPO 組織の理事長をはじめ地域活動に積極的にかかわっておられる方がご出席され、SC と連携して進めていくにあたっての、意気込みを示されたり、アイデアをだされたりしました。

続いて、すでに ISS に認証されている朋有小学校の校長とご担当の先生方がお越しになり、両校の先生方と豊島区 SC ご担当者、教育委員会と JISC で進捗状況や取組方法などに関する情報交換とともに、朋有小学校の再認証に向けた取り組みについての意見交換等を行いました。

### 【秩父市】 専門家招へいに向けてリハ開催

秩父市では、5 月に SC 専門家を招へいして取組の進捗状況を見ていただくに先立ち、4 月 24-25 日の 2 日をかけて、対策委員会による報告のリハーサルを行いました。

秩父市は、この 2 月の大雪の被害が特に大きく、SC を担当されている危機管理課はその対応に追われる日々を過ごされてきました。そのため、今回のリハーサルに向けた準備においてもしわ寄せは避けられず、事務局としてはお忙しい日々だったと推測します。

それぞれの対策委員会が本番を想定してこれまでの取組経過を報告され、それに合わせて JISC 白石が英訳していきました。その後、当日は、いかに一度聞いただけで秩父市の取組の背景と進捗状況をご理解いただき、適切なアドバイスをいただけるか、という視点からデータや取組みなどの報告内容について協議を行いました。

今回のリハーサルに先立ち、市長は報告資料をもとに SC 活動の進捗状況について説明を受け、「ここまで地域が動いているとの報告をきき、SC を導入してよかったと実感した」と地域の協働による活動の状況を喜んでおられました。



また、準備に追われる日々の合間を縫って、1 日目のスケジュールが終わった後には、SC 関係者による懇親会が開催されました。この 4 月で他の部課に異動された方、今回新たに着任された方全員がそろい、これまでの取組を振り返るとともに、5 月に向けてエネルギーをチャージされました。

### 【郡山市】 秩父市の視察と JISC との打合せ

郡山市は、現在、本年 11 月の正式な SC 着手に向けて準備を進めておられます。本年度に入り、本格的に始動されるとともに、新たなご担当者が着任されたことから、今回の秩父市さんのリハーサルを視察されました。これからどのようなことを行っていくのかは、すでに JISC からご説明差し上げておりますし、郡山市さんも各自治体から情報収集をされていますが、やはり対策委員会による活動の報告を聞くなかで、具体的なイメージも持てるのではないかとおもいます。他自治体の視察は、交通費等費用がかさむ場合も多く、頭が痛いところかとは思いますが、対策委員会の会議や活動の場を視察することで、これまでの行政による計画策定等に向けた審議会とは異なるということを行政、地域住民ともに実感できるよい機会となっています。

また、秩父市さんのご厚意により、リハーサルの合間を縫って今後の進め方等についてお打合せも行いました。

### 【箕輪町】 新たなモデル地区で活動開始！

4 月 28 日に箕輪町にお伺いし、新たなモデル地区となる富田地区をお伺いし、主要メンバーとの座談会形式でざくばらんなお話をする機会をいただきました。



富田地区では、すでに、昨年度から住民主体の SC 運営組織が立ち上がっており、自分たちでアンケート調査を実施し地域診断も済ませ、重点課題も設定されていました。今回は、これから取組を展開するうえでのポイントや課題解決の方法などについていろいろと質問をいただきました。前のめりになって私のコメントを聞いてくださる方もいて、地域をよくしたい！という強い思いを感じました。

夕刻からは、SC 推進協議会に出席しました。その中で、ある委員のご意見は、町をよくして行きたいという思いにあふれていました。会議も終わりに差し掛かったころ、「清水の舞台から飛び降りるつもりで言います！」とはじめられ、「みんなでどんどん推進協議会を活性化して行きましょう！どんどん意見を出しましょう！質問をしよう！」と呼び



かけられました。他の皆さんがこれに答え、活発な議論の場となることを期待しています

【発行】一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構  
※問い合わせは下記ヘッダーの連絡先まで